

# JIS

## 切削油剤

JIS K 2241 : 2017

(JMFA/JSA)

平成 29 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	千葉 光 一	関西学院大学
(委員)	今井 勇	一般社団法人日本ゴム工業会
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大野 香代	一般社団法人産業環境管理協会
	小川 修	一般社団法人日本塗料工業会
	倉品 秀夫	公益社団法人自動車技術会
	小森 亨一	一般社団法人日本分析機器工業会
	斉藤 良	日本プラスチック工業連盟
	四角目 和広	一般財団法人化学物質評価研究機構
	高津 章子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	中島 眞理	株式会社ブリヂストン
	中村 優	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	野中 玲子	一般社団法人日本化学工業協会
	保倉 明子	東京電機大学
	松永 直樹	拓殖大学
	三浦 安史	石油連盟
	森川 淳子	東京工業大学
	山崎 初美	主婦連合会
	山田 美佐子	一般財団法人日本消費者協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 36.9.1 改正：平成 29.10.20

官 報 公 示：平成 29.10.20

原 案 作 成 者：全国工作油剤工業組合

(〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-9-9 八丁堀プラレールビル TEL 03-3553-3019)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会 (委員長 千葉 光一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及び性状	3
4.1 一般	3
4.2 不水溶性切削油剤の種類及び性状	3
4.3 水溶性切削油剤の種類及び性状	4
5 不水溶性切削油剤の試験方法	5
5.1 共通事項	5
5.2 試料採取方法	5
5.3 動粘度試験方法	5
5.4 脂肪油分試験方法	5
5.5 機器分析による全硫黄分試験方法	12
5.6 銅板腐食試験方法	12
5.7 引火点試験方法	12
5.8 流動点試験方法	12
5.9 耐荷重能試験方法	12
6 水溶性切削油剤の試験方法	12
6.1 共通事項	12
6.2 試料採取方法及び試料の調製方法	12
6.3 表面張力試験方法	12
6.4 乳化安定度試験方法	16
6.5 不揮発分試験方法	17
6.6 pH 試験方法	17
6.7 機器分析による全硫黄分試験方法	17
6.8 泡立ち試験方法	17
6.9 金属腐食試験方法	18
7 製品の呼び方	19
8 表示	19
解 説	20

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、全国工作油剤工業組合（JMFA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって **JIS K 2241:2007** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

## 切削油剤

## Cutting fluid

## 1 適用範囲

この規格は、主に金属の切削加工及び研削加工に用いる切削油剤について規定する。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯
- JIS H 3100 銅及び銅合金の板並びに条
- JIS H 4000 アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条
- JIS K 0050 化学分析方法通則
- JIS K 0117 赤外分光分析通則
- JIS K 2001 工業用潤滑油－ISO 粘度分類
- JIS K 2251 原油及び石油製品－試料採取方法
- JIS K 2265-1 引火点の求め方－第1部：タグ密閉法
- JIS K 2265-3 引火点の求め方－第3部：ペンスキーマルテンス密閉法
- JIS K 2265-4 引火点の求め方－第4部：クリーブランド開放法
- JIS K 2269 原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法
- JIS K 2283 原油及び石油製品－動粘度試験方法及び粘度指数算出方法
- JIS K 2513 石油製品－銅板腐食試験方法
- JIS K 2519 潤滑油－耐荷重能試験方法
- JIS K 2541-3 原油及び石油製品－硫黄分試験方法 第3部：燃焼管式空気法
- JIS K 2541-4 原油及び石油製品－硫黄分試験方法 第4部：放射線式励起法
- JIS K 2541-5 原油及び石油製品－硫黄分試験方法 第5部：ボンベ式質量法
- JIS K 8001 試薬試験方法通則
- JIS K 8034 アセトン（試薬）
- JIS K 8102 エタノール（95）（試薬）
- JIS K 8103 ジエチルエーテル（試薬）
- JIS K 8122 塩化カルシウム二水和物（試薬）
- JIS K 8574 水酸化カリウム（試薬）
- JIS K 8593 石油エーテル（試薬）
- JIS K 8848 ヘキサン（試薬）